



共創のまちづくり 郵便局との連携への期待

令和4年11月21日
前橋市 副市長 大野誠司



日本のほぼ中央に位置する中核市



前橋市マスコットキャラクター ころせん

人口 **332,055人** 2022年10月末現在
世帯数 **153,542世帯**
面積 **311.59km²**
標高 **最低64m 最高1,823m**



関東平野の北端から百名山の赤城山

日本総合研究所 全47都道府県幸福度ランキング2022年版

健康分野 中核市 **1**位

物価が安い

物価水準



1位

小売物価統計調査（構造）/令和元年 総務省

医療が充実

医師の数

先進医療件数



約 **200** 人 **1**位

に一人

群馬大学病院の先進医療件数/
前橋市調べ

子育て世代に優しい

子育てしながら
働ける環境がある都市 待機児童



2位 **0**人

成長可能性都市ランキング2017/
野村総合研究所

保育所等関連状況とりまとめ
令和元年 厚生労働省

め
ぶ
く。

Where good things grow.

その芽は、まだ小さい。

風に吹かれ、雨を待ち、太陽の熱さにその身をあずける。

そしていつか、枝をつけ、葉を繁らせ、

強く太い幹となる日を夢見ている。

人は芽だ。この地は芽だ。そしてつながりは芽だ。

いまは若い芽だけれど、未来の大樹を隠し持つ芽だ。

Where good things grow.

この地ではじまる、芽ぐみ。

ここから、よきものが伸びてゆく。

いくつもの芽が育ち、やがては大きな森をつくっていくだろう。

Where good things grow.

わたしたちは、この地の芽吹きのために、

未来に希望の森を見るために、

厳しくも優しい風になろう。

慈しみの雨になろう。

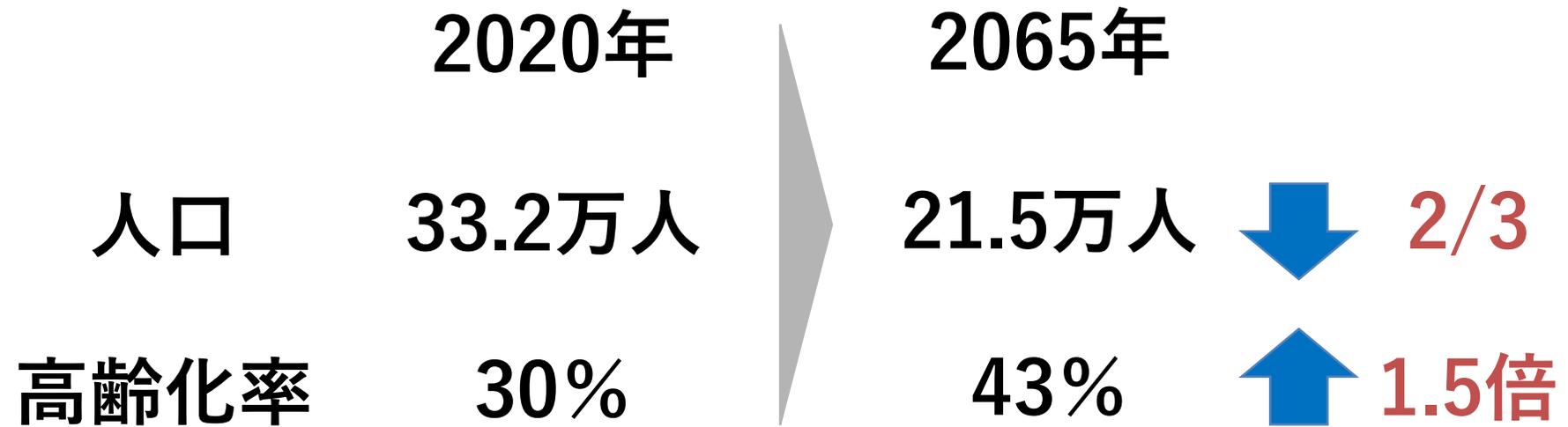
そして、なによりも熱い太陽になろう。

Where good things grow.

きっと、芽吹く。

前橋の大地の下にはたくさんの種が、そのときを待っている。





市民の思いによる魅力的な取り組みが、持続的に営まれ、市外からも思いをもってもらい、さらに発展的に展開される新たな価値が「めぶく。」まちになるには

共創のまちづくり



共創のまちづくり + DX (デジタルグリーンシティ) の経緯

めぶくグラウンド株式会社 設立



2022 | デジタル田園都市国家構想
TYPE-3 & TYPE-2 (群馬県申請) 採択



2019 | 前橋デザインコミッション 設立



2016 | 太陽の会 発足



●前橋まちなかまちづくりファンド 設立

2022 | 夏のDigi田甲子園
アイデア部門 優勝 めぶくEYE



●白井屋ホテル開業

2020 | 先進的まちづくり大賞 受賞



●前橋イベント開催

●太陽の鐘 設置

2019 | アーバンデザイン作成



●民間主導による前橋ビジョン制定

実装部門 準優勝 マイタク



めぶく。

地域の郵便局も重要なパートナー

- H25.11～** **前橋市・郵便局連絡会議**（年一回定期的に開催）
H25～ 手紙の書き方教室開催
H25.11 **道路損傷等箇所の情報提供に関する覚書**
H26.6 W杯公式球（レプリカ）の市内各小学校への贈呈
H27.9 前橋を題材にした絵葉書「前橋今昔十六景」の作成
- H28.9** **市民生活の安全安心に関する協定締結**・防災ラジオを各局へ設置
H28.12 市内各小学校への年賀葉書寄贈式
H29.9～ 地域包括支援センターが開催する地域ケア調整会議への出席
H29.11～ ころとん・ぽすくまシールの作成
- H29.11～R4.3** **マイナンバーカード取得促進**（マイナポータル用端末を各局へ設置）
H30.11～ 協定に「**不法投棄の情報提供**」を追加
R1.7～ 道案内のために前橋市の観光地図の配布
R1.10～R2.1 & R4.11～R5.1（予定） 市内の全46郵便局でプレミアム付商品券を販売
R1.11～ 市内の3郵便局で**常設フードライブ**が開始 R3に2郵便局を追加
R3.2～ 市内の全46郵便局で**安心カードの配布**を開始
R3.9～ 協定に「**高齢者等の異変等を発見した際の情報提供**」を追加
- R4.9** 「安全安心協定に**道路の漏水箇所の情報提供**」を追加し、**包括連携協定**を締結
- R4.11～R5.1** **MaeMaaS**（前橋版MaaS）**での連携**（郵便局等の公的地域基盤連携推進事業）

常設フードドライブ (R1.11~)

令和3年度 郵便局での受け入れ・・・1,948kg



基礎的な行政サービスでの連携（特に郊外部）の検討は市としても進めていくが、さらなる共創に推進にあたって、以下を要望したい。

充実した拠点数と偏りの少ない配置、地域の拠点としての親近感を背景に

1. デジタル田園都市や地域のDXの実装にあたり、 地域住民をケアできる拠点としての制度整備

⇒ ex マイナンバーカードの郵便局での申請時本人確認方式の実現

2. 地域の実情に応じたサービスの共創を促進する 体制構築

⇒ ex 県域より細かな地域のレベルでの共創サービスの検討・実施





MaeMaaSとは・・・既存の交通手段と新しいテクノロジーを組み合わせ、前橋の交通をもっと便利にすることで、前橋での暮らしがより豊かなものにしていくサービス

2020年12月～2021年3月
2021年10月～2022年3月
2022年4月～10月
「MaeMaaS」(実証実験)

2022年11月～
「MaeMaaS」(社会実装)
●実証実験を終了し、社会実装スタート

2022年度末～
他エリアへの展開
●エリア拡大
●「マイナンバーカード×Suica連携」などの機能拡張

MaeMaaS 提供コンテンツ



スマートフォン向けWEBアプリ MaeMaaS

info
施設情報



デマンド予約



リアルタイム
経路検索WEB



商業クーポン



バスロケーション
表示



シェアサイクル
満空情報表示



鉄道フリーパス



Suica/マイナンバー
カード認証



バスフリーパス
(マイナ割引有り)

マイナンバーカード×Suica連携

SuicaのIDとマイナンバーカードの
住所（市区町村まで）と誕生日
月を紐づけ

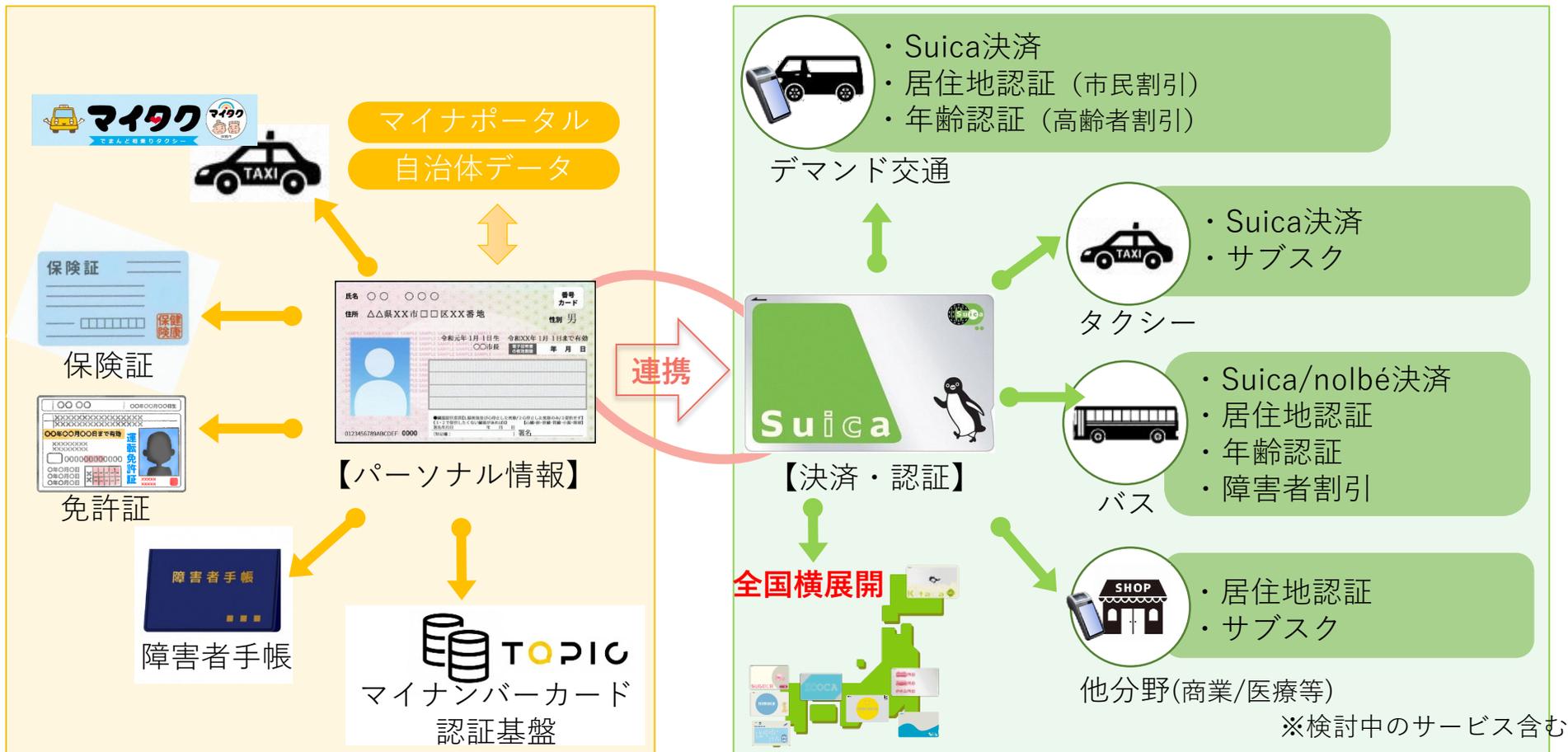


Suica一枚だけで、マイナンバーカード所有者向け特典サービスを提供

バスやデマンド交通を市民向け運賃で利用できる実証実験を実施中



前橋版MaaS(MaeMaaS)によるマイナンバーカードとSuicaの連携



今後の展望

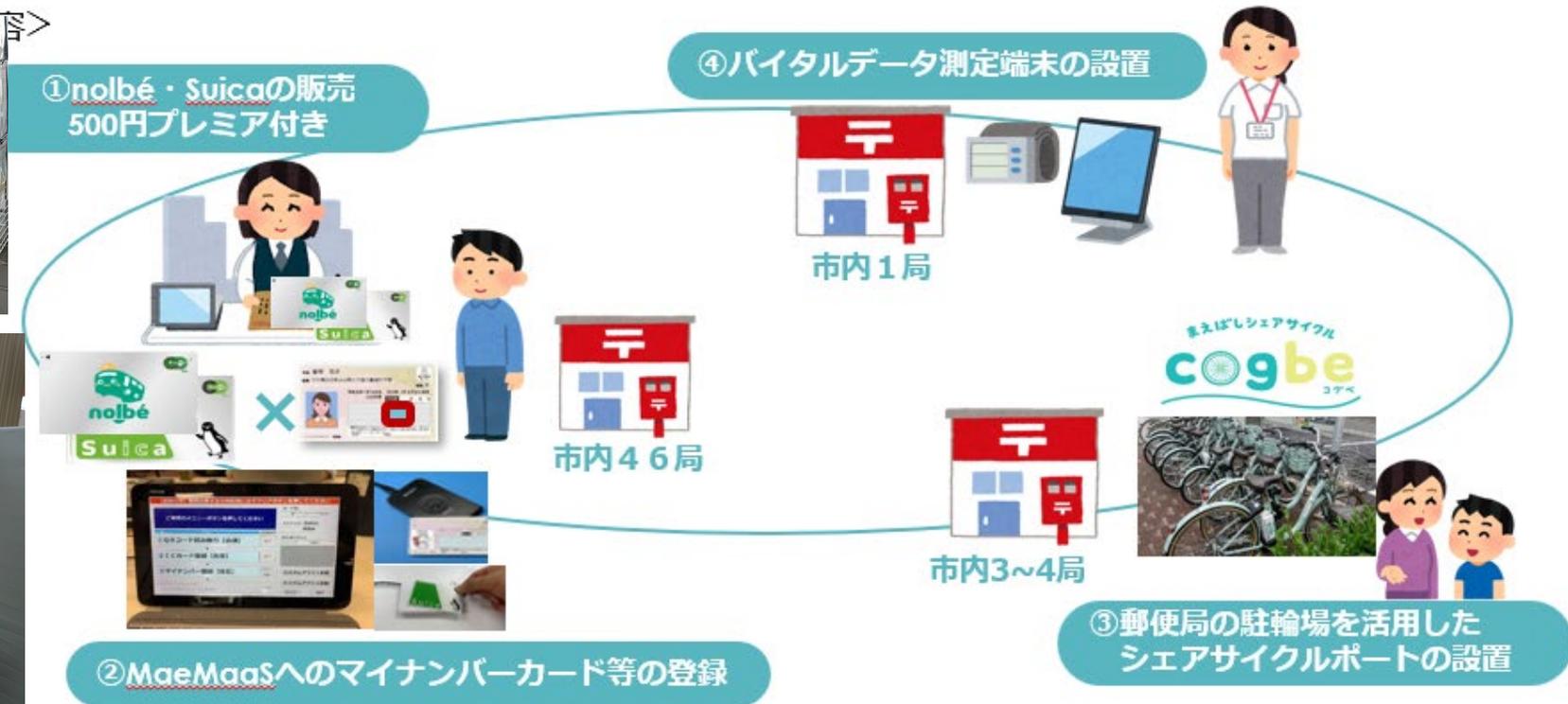
- MaeMaaSの更なる **サービス拡充** (機能拡充、移動×買い物×通院など一括決済、めぶくID連携等)
- 2022年11月9日 **連携協定締結、MaeMaaS社会実装スタート** (11/9合同記者会見)
- 2023年2月末 **群馬版MaaSへ昇華＝県域展開⇒全国展開へ**

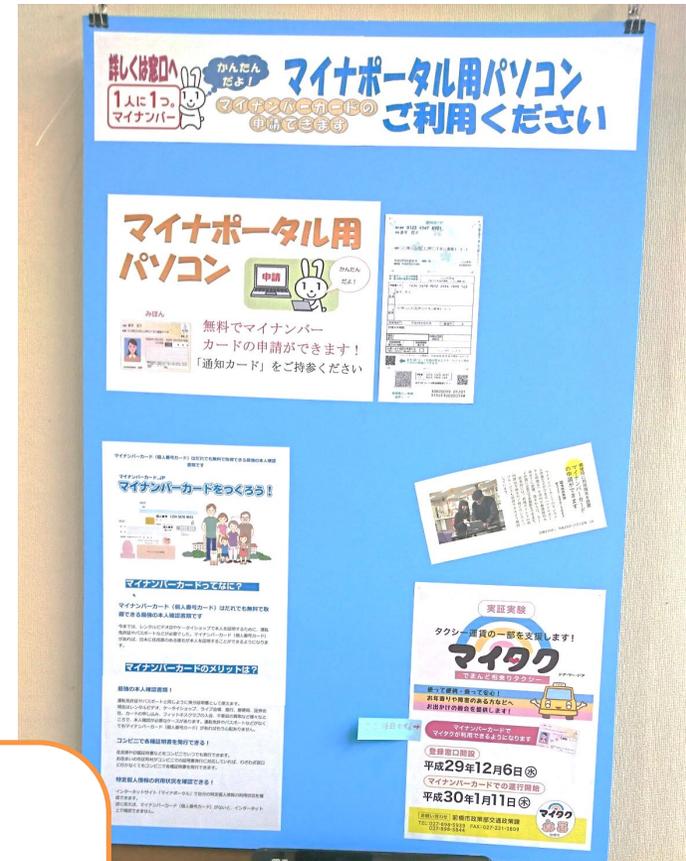
MaeMaaS普及推進における郵便局との連携

市民が日常的に立ち寄る拠点として、市内に遍在する郵便局と連携し、郵便局を公共交通の発信基地とすることで公共交通の利用機会向上等を図る。

(実証期間：2022年11月～2023年1月末)

- 路線バス等の公共交通の利便性向上に繋がる**交通系ICカードの販売**
- **MaeMaaSの登録サポート**（**マイナンバーカードとSuicaの連携サポート**）
- シェアサイクルポートの設置 等





局長さんの創意工夫で
説明用パネルも掲示

- 身近な郵便局で、なじみの局長さんに申請を手伝ってもらえて助かった。安心だった。(利用者)
- 申請には、有料で写真を撮る必要があったと思っていた。郵便局で無料で写真撮影してもらえ、便利。(利用者)
- 申請を手伝いながら利用者さんの近況を聞いたり、コミュニケーションのきっかけとして有益。(局長)

郵便局でのマイナンバーカード申請支援は好評だったが、カード受取りに**市役所に来庁することが負担**との声も。自治体としても、受取りに来なければ、交付滞留数が増加する。

要望

郵便局での申請時本人確認方式が実現できるよう、日本郵便職員による本人確認を認める制度整備

各方面にメリット

市民

• マイナンバーカード取得の**利便性向上**

自治体

• マイナンバーカード**申請・交付環境向上**

国

• マイナンバーカード**普及促進**

郵便局

• 顧客とのコミュニケーション**機会増加、収入増**

日本郵便

• 本人限定郵便等の**郵便取扱量増加**

基礎的な行政サービスでの連携（特に郊外部）の検討は市としても進めていくが、さらなる共創に推進にあたって、以下を要望したい。

充実した拠点数と偏りの少ない配置、地域の拠点としての親近感を背景に

1. デジタル田園都市や地域のDXの実装にあたり、 地域住民をケアできる拠点としての制度整備

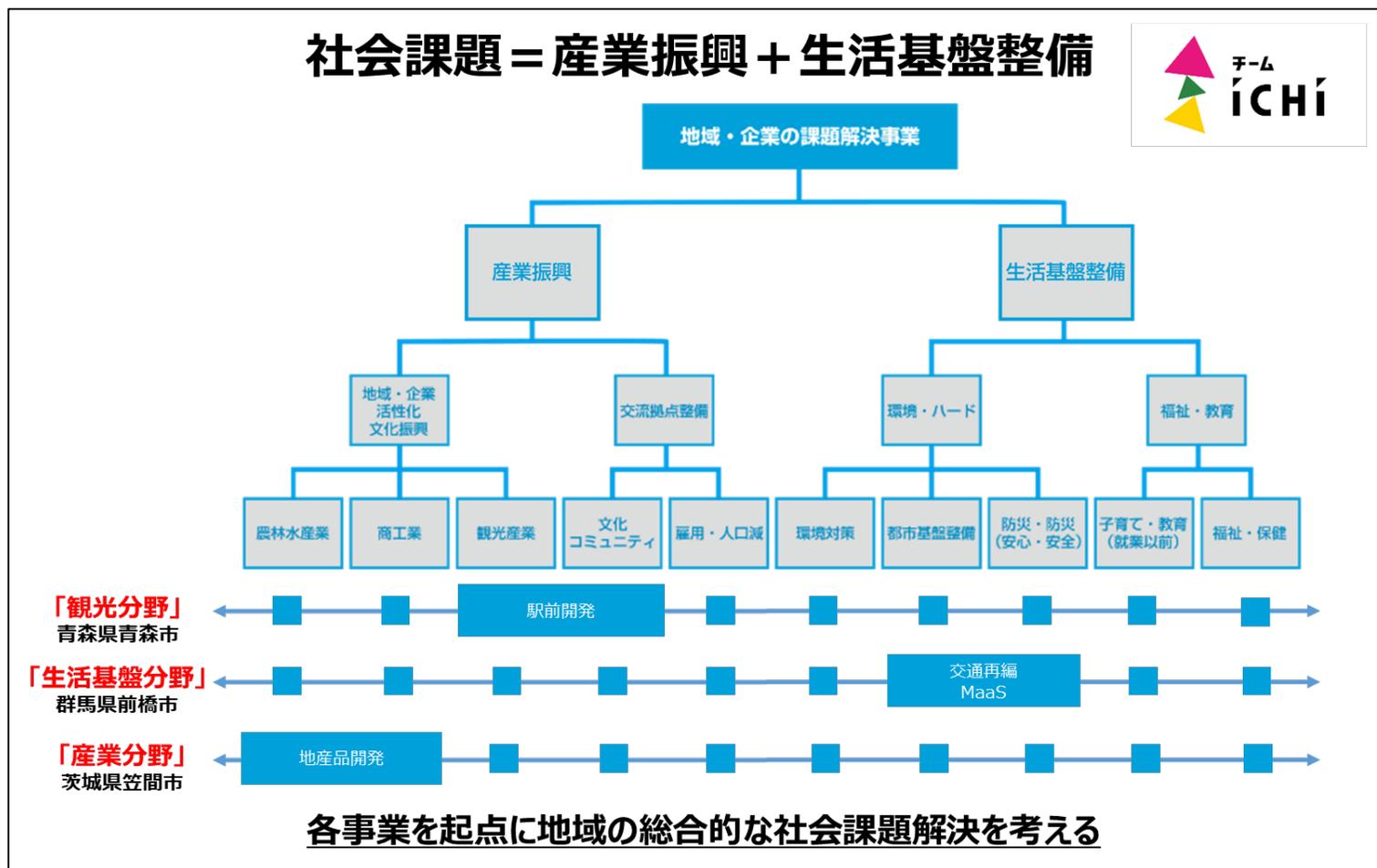
⇒ ex マイナンバーカードの郵便局での申請時本人確認方式の実現

2. 地域の実情に応じたサービスの共創を促進する 体制構築

⇒ ex 県域より細かな地域のレベルでの共創サービスの検討・実施



- 目指す方向性（地域活力増進、持続発展的なまちづくり等）、課題解決に向けて産業振興と生活基盤整備に取り組むことは、どの地域でも共通。
- **政策的な優先順位やアプローチは、地域性（人口や産業の構成、公的施設の配置、各分野の事業者や推進体制の有無・規模等）により、地域で異なる。**



- (行政からの委託も含め) 一定の収益性と付加価値のあるサービスの創出には、地域の実情を踏まえたサービスを**地域とともに共創**する必要があり、**地域に郵便局が主体的に入り込んだ議論**が不可欠。
 - ➡ ✓ やる気のある地域へ、**一定の権限と実証的予算を付与**しては？
 - ✓ 本社、支社内の他地域への**横展開を促す仕組み**を設けては？
 - ⇒ ex 鉄道会社 (営業) 統括センター、地域共創アワード
- 全国共通的な行政手続等の委託においても、自治体の規模、住民分布、支分部局の配置状況等により、**同一の単価に対する評価は異なる**。
(同一自治体の市街地と郊外部でも同様)
- また、手続の種類により、**自治体側の委託意向に強弱**が想定される。個々の手続の検討では、それぞれで委託の可否が判定され、自治体としても郵便局としても効率的な連携がされにくい。
 - ➡ ✓ 自治体規模、支分部局配置等の**状況に依る単価の設定**
 - ✓ 複数の手続きをまとめ、**全体として収益を確保する委託契約を可能とし**、一定程度の**調整権限を地域の郵便局へ付与**しては？